

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：鹿島市ラムサール条約推進協議会

活動地域：佐賀県鹿島市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

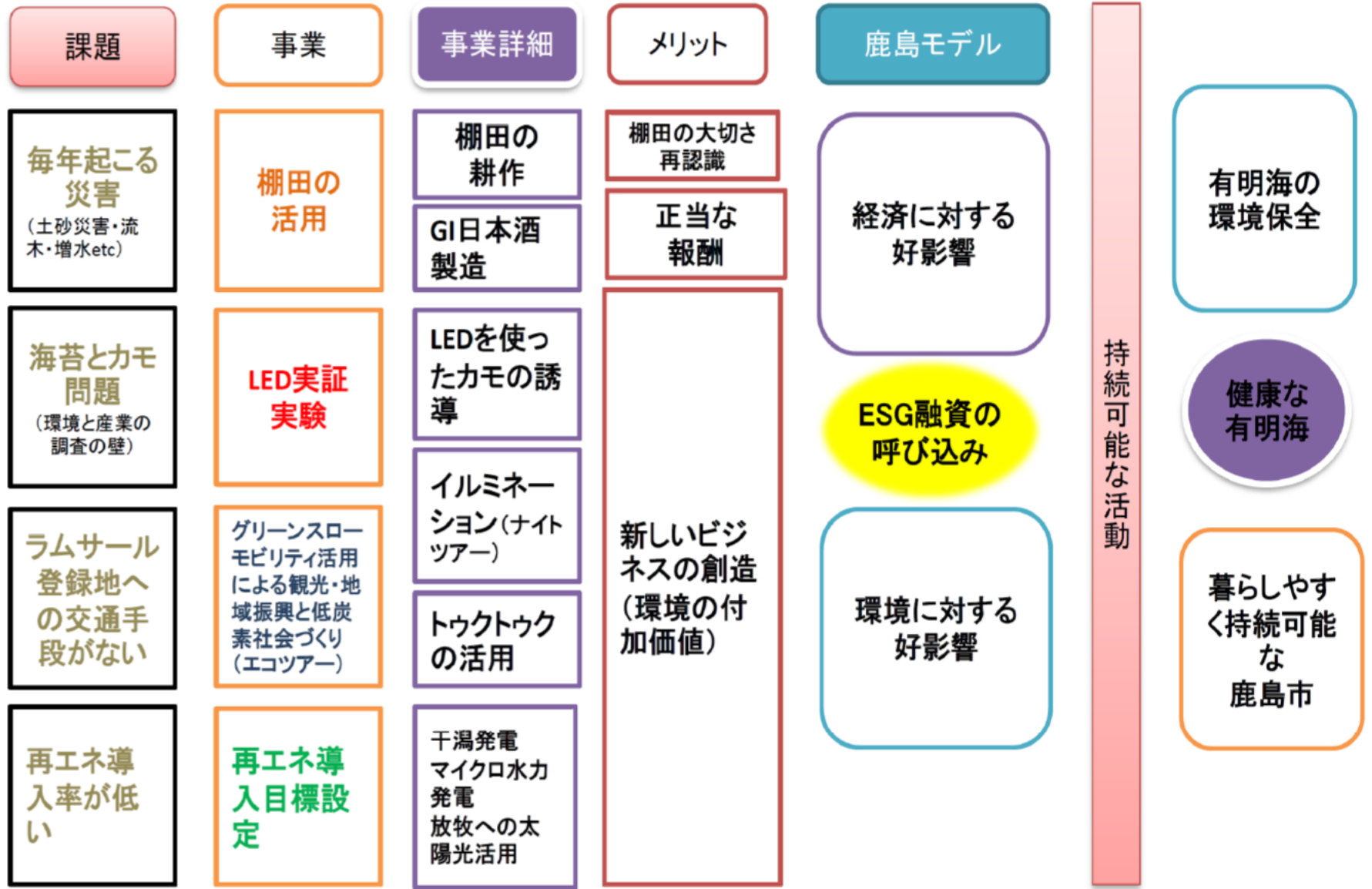
環境と産業の調和から有明海再生を目指す

活動団体紹介・目指す地域の姿

かしまししぜん 鹿島市の自然のつながり



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと①



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと②

事業名称	棚田米を活用したグリーンインフラ日本酒製造
事業の あらすじ・ ストーリー	グリーンインフラとしての付加価値をつける上での科学的評価、地域の自然を活かしたストーリー作りや商品企画
今年度の 取組	   <p>中山間地域の棚田 二毛作がサフランという異色の田</p> <p>棚田米でお酒を作り、その酒粕・ワラ・みかん粕・海苔のハネモノをみかん荒廃園の放牧牛のエコフィードに。</p>
進捗状況	2月に酒蔵とモチーフ・デザイン決定 3月環境評価 グリーンインフラ日本酒販売！

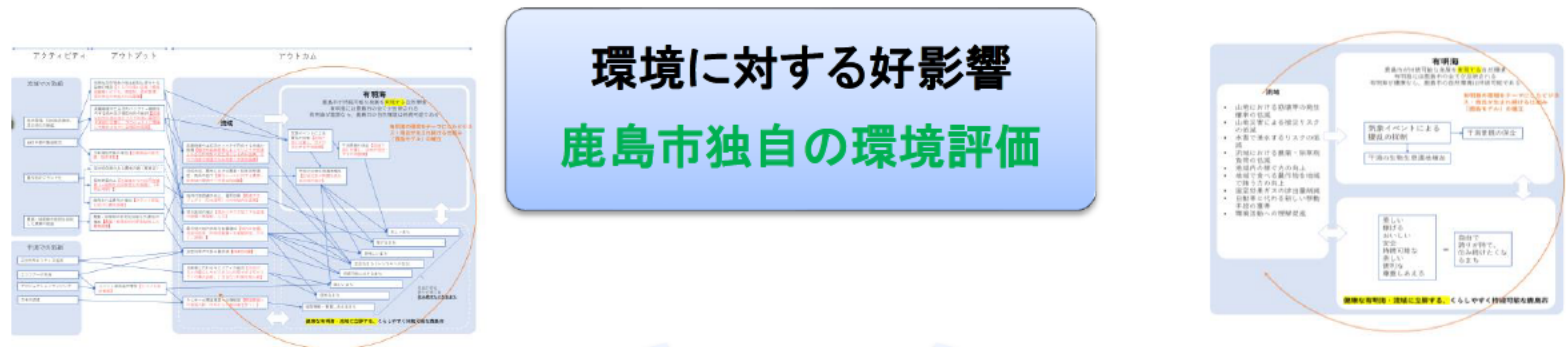
地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと③

事業名称	超小型モビリティ活用による観光・地域振興と低炭素社会づくり（エコツアー）
事業の あらすじ・ ストーリー	カモの食害対策とエコツアーを組み合わせ、負のイメージをプラスに
今年度の 取組	 <p>Cabela BGLY 57 F 01-03-2020 14:59:45</p>   <p>LEDライトを使った カモの誘導実験</p>  <p>ナイトツアーの開催</p>
進捗状況	地域循環共生圏でマッチングした静岡県浜松市の「パイフオトニクス株式会社」と会場での実証実験を12月～1月末まで行った。一定の効果は得られたが、今後電力などの課題があり、太陽光を蓄電できる企業との連携を来年度計画中。

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと④

事業名称	鹿島モデルの構築
事業の あらすじ・ ストーリー	鹿島市の環境保全につながる事業を生み出し鹿島市の環境と産業を元気にする。環境と産業の調和から有明海の再生を目指す。

今年度の
取組



経済に対する好影響
ESG金融
 (県内金融機関5行との連携協定)

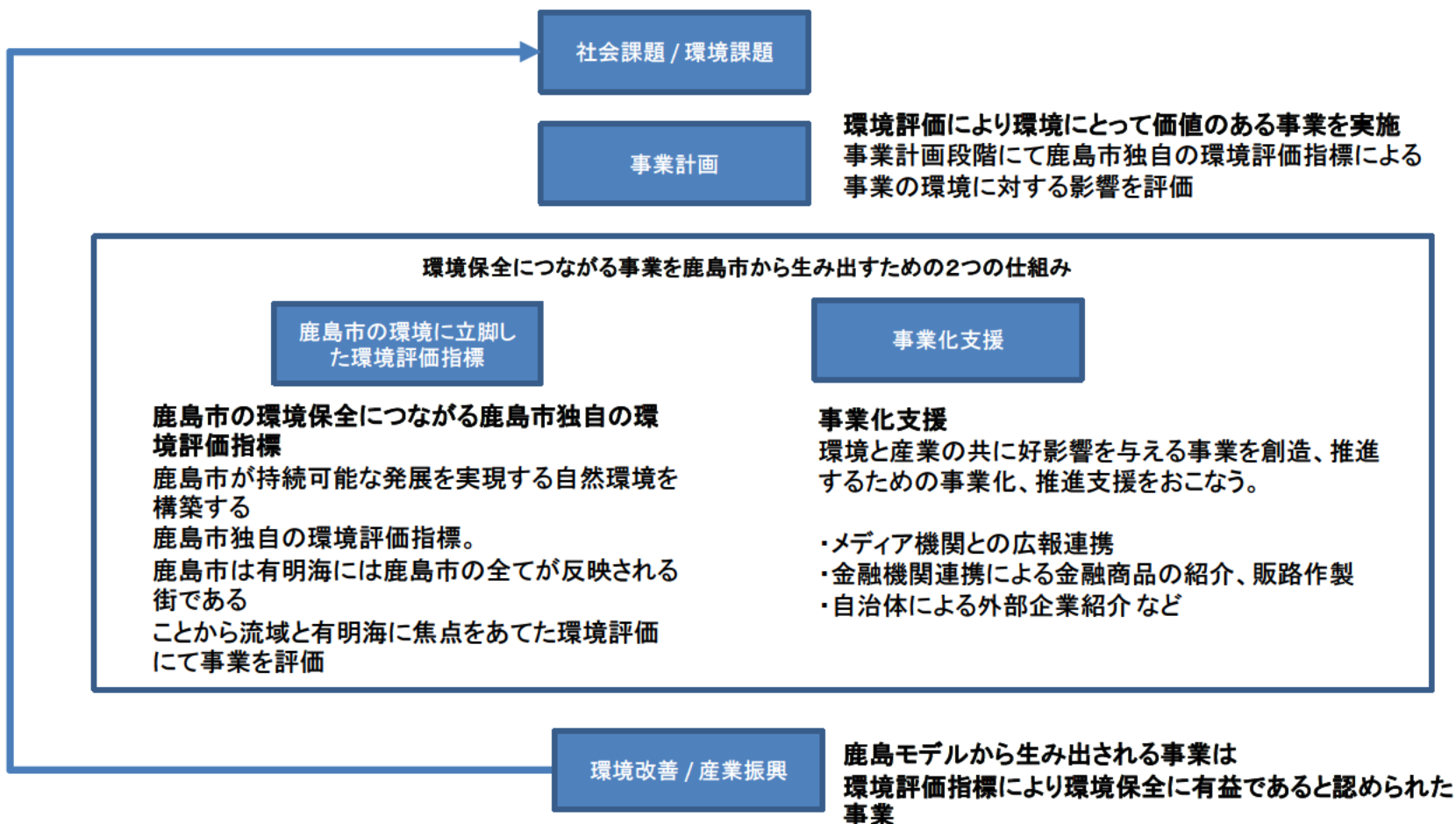
伝える
佐賀新聞社との連携



進捗状況	3月開催予定 金融機関との勉強会 佐賀新聞社とSDGs推進の取組(アワードの検討)
-------------	--

鹿島モデル

鹿島市の環境保全につながる事業を生み出し鹿島市の環境と産業を元気にする。
環境と産業の調和から有明海の再生を目指す。



今年度の取組を通じて得た気づきや課題

① 事業の実施に関連して気づいた、今まで見えなかったこと。

例) 棚田米

- 棚田米の正当な価格での取引
- 棚田の生き物調査(佐賀大学)⇒絶滅危惧種の発見
- 棚田の役割の情報発信⇒防災・減災

② 肥前鹿島干潟SDGs推進パートナーのありがたさ。仲間が増えると事業がしやすい!

- 困っていると誰かが助けてくれる。
- でも思わぬところからクレームが...
- 楽しいと思えると仲間も増える

③ 環境と産業の調和を目指す以上、どうしても相容れない関係はある。

- Win-Winに持っていくためには。

今後の展望

① 鹿島モデルの構築

- 3年後の鹿島も守る酒プロジェクトの始動

⇒新しいビジネスの展開

⇒金融機関との事業展開

- アワードの設立(肥前鹿島干潟SDGs推進パートナー)

⇒佐賀新聞社・商工会議所と共同で

⇒ESG金融の研究と連携し、新しいビジネスチャンスにつなげる

②鹿島市に再生可能エネルギー(カーボンニュートラルの実現に向けて)

⇒干潟や海の上での発電

⇒ラムサール条約登録湿地「肥前鹿島干潟」をゼロカーボンパークへ

グリーンスローモビリティの活用

⇒エコツアーの開催

③ 企業との連携

⇒金融機関との連携

⇒佐賀新聞社との連携

⇒肥前鹿島干潟SDGs推進パートナーとの協同事業